

トークイベントを  
価値あるものにする  
プロ・モ・レ・ターをどう活用くださる

これらの  
課題を解決!

- 一方通行の講演では聴衆の心に届かない。
- 登壇者が一人で論理的にしゃべり続けるのは難しい。
- 台本に忠実なトークはつまらない。
- 聴衆が話の流れについていけない。
- 予定時間を大幅にオーバーしてしまう。

詳しくは裏面をご覧ください

# トークイベントにありがちな課題を 解決するプロのノウハウ

トークイベントは、聴衆に直接、サービス提供者や専門家としての思いを伝える絶好の機会。  
ところが進行・演出をないがしろにすると、せっかくの機会が台無しに。  
“来場者の心に何も残らない”という残念な結果を生む可能性があります。

## 聴衆の目線に立った イベント進行

第三者目線のプロ・モデレーターはあくまで聴衆の立場で進行するため、あまりに専門的な内容、内輪ネタに走りそうな時に機転を利かし、聴衆の代表として質問をしたり、観客の反応を見ながら軌道を修正していきます。

## 登壇者が話しやすい 構成案を作成

トークイベント開催前には、登壇者ひとり一人と面談したうえで、主催者の趣旨に沿った基本構成案を作成。登壇者の負担が大幅に軽減されます。当日は登壇者を引き立てながら、ストーリーを描きながら、スムーズかつエンターテインメント色の強い“聴衆巻き込み型イベント”を演出し、成功に導きます。

## ライブ感を演出する

スクリプト(台本)通りに進行するトークは、聴衆からみれば、それがいかにも作られた場であることは明らか。どこか物足りなく退屈なイベントになってしまいます。会場の雰囲気や登壇者の個性、状況を読みながらアドリブを利かせるモデレーターがライブ感あふれるイベントへと昇華させます。

## 経験豊富なインタビュアー が巧みに誘導

Q&A対談でメリハリをつけるので印象に残りやすく、聴衆も飽きることなくトークイベントを楽しむことができます。イメージは、壇上で実施される公開インタビューです。豊富なグループインタビューの経験を活かし、ファシリテーターとして登壇者の発言を取りまとめながら、オンタイムにてトークイベントを仕切ります。



### PROFILE

#### 伊藤秋廣

年間500人にロングインタビューを実施し続けるプロ・インタビュアー。様々な業界で活躍するビジネスパーソンをはじめ、文化人、芸能人、アスリートなどから数々の名言を引き出してきた。株式会社エーアイプロダクション代表。

### 実績

日経BP社主催大型経営セミナー、大手M&A仲介会社主催小規模セミナー、スタートアップ企業3社合同開催のトークセッション、大手通信会社社内キックオフミーティング、飲食店オーナー3名によるトークイベントなど

問い合わせ先

